

目 次

1. ご挨拶	
栃木県歯科衛生士会会長	中 村 美智子 …………… 1
(一社)栃木県歯科医師会会長	赤 沼 岩 男 …………… 2
2. 令和2年度災害歯科保健研修 e-ラーニングを受講して ……………	3
3. 講習会受講報告 ……………	5
4. 受賞者報告 ……………	8
5. リレーエッセイ DHのひとりごと ……………	9
6. 令和元年度栃木県後期高齢者医療広域連合委託事業報告 ……………	10
7. 地域歯科保健指導者委任状 ……………	14
8. 地域歯科保健事業の報告 ……………	15
9. 栃木県歯科衛生士会支部紹介 ……………	16
支 部 長 会 ……………	16
宇 都 宮 支 部 ……………	17
小 山 支 部 ……………	18
日 光 支 部 ……………	19
鹿 沼 支 部 ……………	20
足利・佐野支部 ……………	21
下 都 賀 支 部 ……………	22
芳 賀 支 部 ……………	23
県 北 支 部 ……………	24
10. 栃木県歯科衛生士会 令和3年度 理事、監事 ……………	25
11. 編集後記 ……………	26



ご 挨拶

栃木県歯科衛生士会

会 長 中 村 美智子

会員の皆様におかれましては、日頃より本会の運営ならびに事業活動にご協力をいただき厚く御礼申し上げます。また、栃木県歯科医師会をはじめ行政及び関係諸団体の皆様におかれましても格別のご理解とご支援を賜り心より感謝申し上げます。

昨年度は、皆様の安心・安全を第一に考え、新型コロナウイルス感染拡大防止のため生涯研修会・情報交換会・各種会議等中止させていただきました。会員の皆様には、お会いしてご挨拶する機会もなく1年が経過してしまいました事をととても残念に思っております。

様々な制限がある中での活動となりましたが、ここに令和2年度活動報告をさせていただきます。本会のみならず中止となりました事業が多く、各支部の活動も制限されておりましたので、例年よりも少なめのご報告となりました。

日本歯科衛生士会関連の会議もZoom使用によるリモート会議となり、本会もそれに対応できますようにリモート環境整備を行いました。現在も新型コロナウイルス感染者数の安定した減少に向けての見通しが付かない状況です。今後、本会の生涯研修会や情報交換会、総会や諸会議を行う際に、リモートを含めた開催にさせていただく状況が続くと思われまします。更なる設備の充実を図りスムーズに対応できる知識と技術の習得に努めたいと思ひます。会員の皆様におかれましてもリモートによる受講等の環境準備をしていただき、積極的な事業への参加をお願い致します。

新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、地域歯科保健に関する事業や高齢者への保健事業と介護予防事業等、歯科衛生士の活動は継続されております。より一層社会からの期待や高度化・多様化する需要に応えていかなければなりません。そのためには、日々更新される正しい情報を常に収集しながら資質の向上を図ることが必須です。

会員の皆様には、日本歯科衛生士会会員が安価で利用できるeラーニングの利用や本会ホームページに掲載される各方面からの研修会情報をフルに活用していただき、情報収集しスキルアップをしていただきたいと思います。

また、多くの方々に本会の活動を知っていただき、一緒に学びを深めていくことを望んでおります。是非とも、皆様の周りにいらっしゃる歯科衛生士にお声がけをしていただき入会を勧めていただけますようお願い申し上げます。

一日も早く穏やかな日常に戻り、皆様と直接お会いしまして情報交換ができますことを切に願っております。



ご 挨拶

(一社)栃木県歯科医師会

会 長 赤 沼 岩 男

未知なる道への挑戦！『MICHI』令和3年度会誌発行、誠にありがとうございます。
中村会長を始めとする栃木県歯科衛生士会の皆様には、日頃、栃木県歯科医師会の諸事業に、ご協力賜り、心から感謝申し上げます。

さて、このコロナ禍の中で本会の事業も、中止を余儀なくされている状況であります。しかし、我々は日々、県民の口腔衛生向上のために、診療に従事致している所です。それこそ、歯科医療の現場では、我々は、高い感染リスクの中で高い感染対策を講じ、医療現場でのクラスター発生は、令和3年6月現在、1,225件のうち、歯科は1件のみの報告です。いかに、我々の感染対策が、しっかりしているかを物語っております。

3密対策、ワクチン接種も大事ですが、コロナウイルスを活性化させないためにも、特に、この時期、歯周病菌を絶対、体内血中に入れてはいけません。ならば、歯みがき&プロフェッショナルクリーニングしかありません。口腔ケアこそが大切だと私は主張いたしたいのであります。

歯周病ありで、コロナ感染で重症化した場合、死亡率は、8.81倍、これは大きな数字です。この口腔ケアが出来る医療従事者は、歯科医師と歯科衛生士のみと、歯科医師法、歯科衛生士法に定められています。今、我々が活躍しないで誰が活躍するのかという事です。歯科衛生士という国民の口腔ケアを支援する国家資格のエキスパートの皆さん、今だからこそ、アピール出来る歯科衛生士という職業を、もっともっと確固たる存在にするためにも、貴会の益々のご繁栄、ご活躍を希望します。それに向けて、我々もチームとして、より一層の努力を惜しんで止みません。そして、口腔保健の普及事業や、予防、健診事業等につきましても、いろいろ知恵をしぼって、今後、世の状況に応じながら、実施していく所存ですので、どうぞ、これからも、貴会のご協力、ご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

『健全なる肉体は、健全なる口腔に宿る』これに関わるのは、我々チームです。皆さん、共にがんばりましょう！

最後に衛生士会の皆さん、からだには、くれぐれも気をつけて、元気に現場で活躍して下さいませ!!

Get up! Dental Hygienist!!

令和2年度災害歯科保健研修 e-ラーニングを受講して

宇都宮支部 長 谷 規 子



「災害歯科保健」については以前より関東信越ブロック研修にて研修を受講しておりましたが、今回災害歯科衛生士の登録にあたり、eラーニング(DH-KEN)で、受講しました。指定通りに事前に「災害歯科保健活動歯科衛生士実践マニュアル2021」をダウンロードし、目を通しておきました。約3時間の講義でしたが、webでの受講でしたので、自分の都合のいい時間

間に2日にわけて受講しました。実際の研修よりも自宅ということもあり、若干のんびりと気楽に聴くことができました。

研修を受講して再確認したことは、災害時に体制が整備されてからの活動を行うには、組織的に動くことチームの一員として協調性をもって支援にあたるのが基本で、自ら考え気づき対応できるようにしておくことです。COVID-19が心配ですが、歯科衛生士も感染症流行下での災害支援では医療従事者の一員として対応できればいいと思いました。

鹿沼支部 木 村 明 子



航空機墜落事故、阪神淡路大震災・新潟中越地震・豪雨水害・そして東日本大震災、多くの犠牲と共に災害に対する整備がなされ、多くの人が災害支援に携わってきた。日衛でも災害支援歯科衛生フォーラムが始まり研修を重ね各県に災害歯科保健歯科衛生士の登録が進められてきた。今回の研修も上記養成のための研修であり、毎年ご講義頂いている先生方による

e-ラーニングで、法的位置づけ、多職種連携から災害支援活動の実際まで細かく説明がなされており、再復習・再確認をさせていただく、良い機会となった。

まずは災害支援のシステムを知り、平時からの備えで自己を守り、そして自分にできる支援をする…これは歯科衛生士としてではなくてもできる事と考える。しかし、いざ何をどの様に？と考えると二の足を踏んでしまう。発災時に一歩踏み出せる様、今後も継続学習をし、また伝達していきたい。是非、多くの方にも受講していただきたいと考えた研修であった。

小山支部 野上 栄子



1月に日衛のeラーニング「災害時の歯科保健」を受講して、災害歯科衛生士になり登録しました。受講時には少しでも災害地域に貢献出来たらとの思いでした。

3月に東日本大震災から10年たち改めて思う事は、日頃、仕事で口腔ケアの大切さを患者さんに話をしていますが、災害時には衣、食、住、全てを失い、口腔ケアは疎かになりその事が原因となり健康悪化や生活苦の要因になり復興の妨げになります。災害時に歯科衛生士にしか出来ない事や気づきがある事を再確認しました。と同時に他職種との連携や情報の共有の大切さを認識しました。

災害は発生しないのが一番ですが、発生した時は私の出来る事から尽力する気持ちが強くなりました。

県北支部 原 瑞穂



近年、自然災害の発生が多くまた、東日本大震災から10年経過し災害の少ない本県においても被災することが他人事ではなくなりました。以前は震災後という意識が有り受講しましたが、時間と共に意識の薄れもあった中、いま一度自身を見つめなおす為にeラーニングを受講いたしました。歯科衛生士個人としての心構えから歯科衛生士会組織としての対応や取り組みを学ばせていただきました。改変され理解し易くなりましたが、個では限界がありやはり仲間が必要だと思います。ぜひ、地域で「お口を支える」会員の皆さん、受講し災害時の歯科保健を理解してみませんか。

県北支部 和田 のり子



今回、災害歯科保健歯科衛生士の登録を行うためeラーニングを活用しました。

今まで何も考えずにボランティア登録していた時に比べ、やるべき事がより鮮明に整備された感がありました。

災害はなるべく起こって欲しくはありませんが、常時新しい知識を更新し、いざという時に歯科チームとして動けるよう準備をしておく必要性を実感しました。

認定歯科衛生士を取得して 令和2年度在宅療養指導・口腔機能管理コースを受講して

県北支部 柿 沼 さおり

私は令和2年度在宅療養指導・口腔機能管理コースを受講し、認定歯科衛生士として認定いただきました。

令和元年8月24、25日と約2日間東京医科歯科大学で受講し、全国から参加された方と交流し、仕事で生かしている方もいれば、個人的にご自分の親に生かしてる方など語り合う時間はとても楽しかったです。グループ討議では項目に対して個人個人の意見も聞けてとても充実したものでした。その後コロナ禍でオンラインで受講になり、慣れない事が多々ありましたが、メール等親切に教えていただいた先生方にはとても感謝しております。

日頃私は在宅生活支援センターに勤務し、訪問看護ステーションで、看護師と訪問、訪問介護で、ヘルパーとして勤務しております。その中で、口腔ケアが肺炎の予防や口腔機能の向上、QOLの向上につながるの周知されるようになったが標準的な口腔ケアを行っているところは多いが全身状態や口腔機能に合わせた専門的な口腔ケアを行っているところは少ないと思います、必要とされる口腔ケアとは何かを明らかにするために在宅療養指導・口腔機能管理コースを学ぶ事でより一層活躍し、自信をもってできるようになりたいと受講を決めました。

訪問先の利用者様に「口の中が気持ちよくなり、ご飯も美味しく食べられようになった」と言っただけの事に喜びを感じています。

まだ試行錯誤が多いですが、多職種との連携も取りながら、信頼関係も築き、良い支援が出来る歯科衛生士を目指しています。

満足せず、機会があれば他の認定も受講したいと思います。

認定歯科衛生士を取得して 摂食嚥下リハビリテーションコース認定セミナーを受講して

県北支部 加藤 望

「あ～！やっと終わった…」2月21日の認定試験を終えて、心底そう思いました。令和元年8月に前期研修が終わってから、1年半が経ちました。新型コロナの影響を受け、後期研修が受講できないまま時間だけが過ぎていきました。後期研修は前期研修のように東京での受講と違い、自宅でオンラインでの研修となりました。書類と併せて実習で使用する物品が送られてきました。良かった点は、講義は約40日間何度でも視聴できることです。そして、産休直前の私は、オンラインでなければ試験は受験できなかったため、助かりました。難点は、実習です。う～ん。これは難しい。その場で質問できる講師がいない。私は、病院勤務のため、病院で実際に吸引機等を使用し実践できますが、中には自宅で実習は難しい会員さんもいたと思います。しかし、このご時世、まだまだオンラインでの研修が続きます。自分自身もリモートに慣れていかないと！そう思える研修となりました。良い経験となりました。

講習会に参加して DH-KENを受講して

小山支部 田嶋 友香

昨年からの新型コロナウイルスの影響で、今年度も研修会受講が非集合型になりました。今までのような会場出席と違い、Web受講の経験少なくPCが苦手な私にとって、非常に戸惑いがありました。しかしコロナ禍でWebは必然となったため、自分なりに少しずつトライして慣れることができ、今回のDH-KEN受講にも取り組みました。

DH-KENの利点は、受講したい講義を選べ、都合のつく日時に合わせられるところです。途中で一旦ストップすることもでき、なかなか長時間取れない時でも融通が効きます。また、興味ある内容も多く、自分の受講したい講義を選ぶことができました。

受講した内容には臨床現場ですぐに活用できることが沢山あり役立ちました。例えば「口腔機能低下症」では、定義や検査方法、診断など現場のケースですぐに対応することが出来ました。また「歯周治療の基本」では、昔学んだことでも忘れてしまっていたことが沢山あったため、新たな気持ちで学ぶことができ、初心に戻ることが出来ました。

DH-KENは利用しやすいツールでもありますし、また受講していきたいと思っております。

講習会に参加して

歯科衛生士の研修指導者・臨床実地指導者等講習会に参加して

宇都宮支部 渡 邊 敦 子

日本歯科衛生会主催で毎年行われておりますが、今年度は Zoom を使った研修で私は、令和 3 年 1 月 30 日(土)～1 月 31 日(日)の第 3 回の講習会に参加しました。

はじめに事前研修があり、自宅に大量の資料が届き web 研修の予習のようなもので、動画視聴し、終了の日時を報告しました。丸二日間の研修で不安もありましたが、事前に Zoom リハーサルを実施してもらえたので安心して望めました。特別講師の他にタスクフォース、ファシリテータの方々のおかげでスムーズにできたと思います。これは、今後栃木県で web 研修を開催する場合に参考にできればと思います。

当日、研修は 4 グループに分かれ、司会進行や発表係等の役割分担をして Google Classroom で課題についての個人作業、グループ討論・発表を行いました。内容は、一日目「歯科保健医療の動向と歯科衛生士を取り巻く環境の変化」「歯科衛生士の復職支援・離職防止等の推進に関する共通ガイドラインの理解」「歯科衛生士の就職先での問題点の抽出」「研修カリキュラムのプランニング」。二日目「雇用形態等の労働法規の仕組み」「歯科医療従事者のスタッフトラブルを考える」「組織における人材育成及び医療従事者の勤務環境改善マネジメントの考え方」です。歯科衛生士として普段様々な場所で働いていると思いますが、労働法規や勤務環境改善の考え方をしっかり学習しておく必要があると実感しました。

グループのメンバーは、南は長崎県から北は秋田県と全国から、就業場所も病院・歯科衛生士養成校・保健所・診療所等でした。もう少し時間があつたら話ができて情報交換できたのではないかと思います。しかし、とても有意義な研修でしたので、今後の活動に活かしていきたいと思います。



この研修は次の方が対象になります

- ①都道府県歯科衛生士会等における研修事業の企画運営の担当者
- ②歯科衛生士学校養成所の専任教員、実習指導教員
- ③臨床実習施設の指導教員（歯科診療所、病院等）
- ④上記のほか、臨床実習施設等における実習生の指導者



保健衛生事業功労者表彰を受けて

足利・佐野支部 塩谷 裕子

この度は栃木県歯科衛生士会の推薦を受け、第60回栃木県公衆衛生大会において上記の表彰をいただきましたこと感謝申し上げます。

思い返すと私が入職した時は、う蝕洪水時代で特に幼児、児童でのう蝕保有数、う蝕罹患率ともに高い状況でした。これを改善するためには公衆衛生が不可欠であると強く感じました。しかし、その頃一般開業医に勤務していたので、どのように実行していけばいいのかと考えていましたところ勤務先の院長が校医をしていた小学校で歯科保健指導をやらせていただくことができました。これが私の公衆衛生事業の始まりでした。以来、小中学校での歯科保健指導に加え、子育て支援センター、乳幼児健診、成人歯科相談、障がい者・児の口腔ケアと担当する事業も増えていきました。平成4年から田沼町の乳幼児健診をやらせていただき現在まで（合併して佐野市）着実にう蝕数は減少しています。

近年では、どのライフステージにおいても口腔衛生が全身の健康に深く関わっていることが多職種へ認知されてきました。また歯科衛生士法も改正され、歯科衛生士の活躍の場が広がってきています。そして、新型コロナウイルスに代表されるような感染症においても口腔ケアが重要であることがわかってきています。「口」という体の入口を清潔にすること（歯みがきだけでなく）で全身の免疫機能を高めていくことができ、様々な病気の予防につながることに、それを伝えられるのは歯科衛生士という職種ですし、他職種、多方面から期待されていると思います。また、感染予防だけでなく「口」という器官の働き（摂食、発語、呼吸）を十分には発揮できることの大切さをサポートしていけるもの（特に「摂食」）歯科衛生士だと思います。人生の最後まで、また障がいがあっても「口から食べる」ということが楽しいことであってほしいと思っています。

私は公衆衛生の場面を通じ、歯科衛生士職域の中で生を受けてから死に至るまでの間の「人生の質」を高めていくことを支え続けていきたいと思っています。

保健衛生事業功労賞受賞者



足利・佐野支部
赤間 多恵子



宇都宮支部
井坂 稔子



小山支部
金子 ひとみ



日光支部
加藤 陽子

日本歯科衛生士会 会長表彰 永年精励賞

柴野 圭子

リレーエッセイ

DHのひとりごと

芳賀支部 秋 元 麻 美

新築で建てたマイホームの窓ガラスが割れ、壁紙が崩れ落ちました。私は、まだ半年の息子を抱き上げ外に飛び出しました。東日本大震災から10年……。あの日の恐怖を今でも忘れたことはありません。私達の人生は日々試練を与えられて生きている気がしてなりません。新型コロナウイルスの影響で私たちの当たり前の日常が失われてしまいました。この先withコロナという時代をむかえ、私たちがどう日常生活を送っていかなくてはならないかを考えさせられる日々です。

4月で歯科衛生士歴16年目に突入する2児の母です。みなさん、毎日をどうお過ごしでしょうか。今日は私の平日ルーティンをお話ししようとおもいます。月曜～金曜までの仕事の私は朝4時45分に起床し2階から1階までの階段の雑巾がけをしながらおりてきます。洗濯乾燥機から洗濯物を取り出し畳みながら洗面所で洗顔です。掃除機をかけ朝食を作り息子たちを起こし身支度をさせたら6時30分には母の家に送り届け小学校も保育園も母宅から出発です。6時45分に車に飛び乗り片道45分かけ出勤します。外来診療から専門外来・周術期など日によって診療内容は変わりますが、毎日目まぐるしいほどの忙しさです。7時過ぎに帰宅し、母の家で夕食を頂き息子の宿題のチェックと学校の準備の確認・帰宅。次男をお風呂に入れ、洗濯を回したら息子達と9時前には就寝です。そんな平穏な日常が幸せと感じながらもなにか物足りなさを感じているのがほんとの気持ちで……。

産休も育休もほとんどとらずに仕事をしてきてしまい、子供たちを育てたという実感もなく10年が過ぎ、こんな母親でいいのかと悩んだこともあります。仕事を離れることができませんでした。強く願い歯科衛生士になりたいと思ったわけではありませんでしたが、今思うと私にとって歯科衛生士は天職だと思っています。歯科衛生士になったときから、大学病院で働きたいという夢がありました。総合病院で15年働き、やっと今自分の夢が叶えることができました。毎日、尊敬する先生と仲間に刺激を受けながら最高の環境で働いています。家族・職場の仲間に感謝の気持ちを忘れず、次のステップへ進めるよう日々精進していきたいと思っています。

令和元年度栃木県後期高齢者医療広域連合委託事業報告

長谷 規子 金子ひとみ 安野 英子 関根 久恵 星野小百合
林 幸子 中村美智子 山名 洋子 鈴木美弥子 田嶋 友香 毛利千栄子

事業名：栃木県後期高齢者医療広域連合口腔に関する相談・指導業務

内 容：(1) オーラルフレイルに関する事前研修

(2) 通いの場等での口腔に関する相談・指導業務

(住民主体の通いの場でのオーラルフレイル事業)

(1) オーラルフレイルに関する事前研修

目的

- ・ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施を住民主体の通いの場を通して関係者が理解する場を設ける。
- ・ オーラルフレイルを通して関係者のフレイルについての理解を深める。
- ・ オーラルフレイル事業を円滑に進めるために関係者の知識を深め支援できる体制をつくる。

内容

- ① モデル事業の説明 医療費の現状 フレイルについて
講師 栃木県後期高齢者医療広域連合 稲葉節子
- ② オーラルフレイルについて オーラルフレイル対策事業について
講師 栃木県歯科衛生士会 長谷規子

参加者

モデル事業実施市の担当者、包括支援センター、通いの場担当者、
実施担当歯科衛生士など

鹿沼市:10月7日(18名) 下野市:10月9日(21名) 宇都宮市:10月30日(13名)

(2) 通いの場等での口腔に関する相談・指導業務 (住民主体の通いの場でのオーラルフレイル事業)

モデル事業 目標

【Ⅰ】自分の口の周りの「ささいな衰え(オーラルフレイル)」を自分ごととして気づいてもらう。

【Ⅱ】「ささいな衰え(オーラルフレイル)」を改善するために、継続して自分で健口体操(おすすすめトレーニング)を実施してもらう。

【Ⅲ】「ささいな衰え(オーラルフレイル)」の改善を実感し、継続して口腔機能の維持向上に努めてもらう。

指導内容

1. オーラルフレイルについて理解してもらう。
2. 「オーラルフレイル」を自覚してもらうために、個別での口腔アセスメント評価を行う。
3. アセスメント結果に基づき、対策トレーニングの指導を行う。
4. 各自が自主的に継続してトレーニングできるように、簡単で楽しい内容を指導する。
5. 通いの場全体でも継続できるように、ゲーム等を活用して楽しくできるような内容とする。
6. トレーニングを継続することで「オーラルフレイル」が改善できることを実感してもらうために、事業終了時に再度個別で口腔アセスメント評価を行う。
7. 改善部分を励まし、継続してのトレーニング実施の意欲をもたせる。

口腔アセスメント内容

- ① セルフチェック（自覚症状）
- ② 舌苔
- ③ 反復唾液嚥下テスト（RSST）
- ④ 「パ・タ・カ」滑舌テスト（オーラルディアドコキネシス）
- ⑤ 咀嚼ガムテスト

おすすめトレーニング内容（必要な対策が多数あった場合は2つまで）

- ① セルフチェックでムセ・口渇の自覚症状があった方 ➡ 舌体操
- ② 舌苔が中程度以上付着していた方 ➡ 舌みがき
- ③ 反復唾液嚥下テストが3回未満だった方 ➡ 飲み込み体操
- ④ 「パ・タ・カ」滑舌テストでいずれかが6回未満だった方 ➡ 滑舌体操
- ⑤ 咀嚼ガムテストが「3」未満だった方 ➡ カミカミ習慣



事業内容と手順

	内容
事前	・問診記入（セルフチェック）ムセ、口渇、義歯使用、外出頻度、歯磨き回数、等
第1回	・事業内容、手順説明 ・事前アセスメント（グループ毎） ・オーラルフレイル講話 ・健口体操の説明と実施 ・アセスメントの結果配布と説明（グループ毎） ・対策トレーニングの解説指導 ・トレーニングカレンダー記入指導
第2回	・オーラルフレイル対策とおすすめトレーニングの解説について講話 ・健口体操の指導 ・健口ゲーム 早口言葉『五十音』、パタカ替え歌、吹き矢ゲーム、ストロー色紙すいつけゲーム
(3～6週間)	通常の通いの場の活動 プラス 健口体操などを実施 (歯科衛生士は不参加)
中間回	・通常活動の見学、激励・アドバイス ・健口体操等の指導
(2～4週間)	通常の通いの場の活動 プラス 健口体操などを実施 (歯科衛生士は不参加)
第3回	・事業内容、手順説明 ・事後アセスメント（グループ毎） ・オーラルフレイル結果と対策についての講話 ・アセスメント結果配布と説明（グループ毎） ・アンケート記入

実施人数（第1～3回及び中間回）

- ① むつみ会（鹿沼市仁神堂町公民館） 延べ84名
- ② しゃんしゃん高砂北（宇都宮市高砂町北自治集会所） 延べ45名
- ③ お茶の間健康クラブ（下野市南河内第2中学校ミーティングルーム） 延べ96名

結果

アセスメントの結果より事業実施前後でオーラルフレイルの改善がみられた。
またアンケート結果より、ささいな衰えの気づきは実感してもらえ、対策（体操）を実施することにより改善されることも体感してもらえた。

概ねモデル事業 目標【Ⅰ】【Ⅱ】【Ⅲ】は達成できたと思われた。

感想（事業参加高齢者 アンケート自由記載より抜粋）

- ・ 口の中は今まであまり意識しなかったが、今回の事で時々自分流でも実行しようと思います。
- ・ 自分の年齢とともに弱くなっていくことを自覚し改善しようと思うようになりました。
- ・ 説明がとてもよくわかりやすい、口・舌に注意する関心を持った。
- ・ 口の大切さを十分感じる事ができた。
- ・ 100歳まで元気で歩きたいと思っているので、そのためには栄養を取り入れる歯を大切にしなければと思った。
- ・ 食事の時の心構えが違ってきた。食べる幸せを長く続けていきたい。

感想（担当した歯科衛生士感想より抜粋）

- ・ 口腔内の健康が、心身の健康に大切である事を、身をもって感じてもらえた様で、皆さんに伝えられるこの事業の意義は大きいと思った。
- ・ 高齢者の方々も学びに対して積極的であり、口に関する事は食や容貌にも関わるため興味をもって参加してもらえた。身体に口は大きく関わることを再確認し、今後も支援出来るような事業が続けられるといいと思う。
- ・ アセスメントの結果で、ご自身の現状を知り、噛む事の必要性を確認し義歯でもしっかり食べられるようにしたいと受診される方もおり、事業そのものが参加者の良いきっかけ作りと学びの場となったようだ。
- ・ 健口体操は、簡単手軽に出来る、衰えは頑張れば改善出来る、と伝えて来た事で、やらなくてはではなくやりたいと思ってもらえたと思う。
- ・ 実施するうえで、グループを変えず担当歯科衛生士も一緒だったことで、安心してアセスメントを受けてもらえ、気になることも話してもらえ、担当側からも話しやすい状況だった。
- ・ 参加者さんがグループで同じ体験をすることで、頑張ろうという意欲とお互いに応援する様子がみられ、『楽しかった。続けていくわ。』との声が多数あった。
- ・ 参加者は意識がとても高く、学んだ訓練を毎日継続していた。それを数字やグラフにする事で、モチベーションが上がり本人にとっての目標が達成されたと思う。今後も機能維持の為に定期的実施できると良いと思う。



地域歯科保健指導者委任状

栃木県歯科衛生士会より依頼の歯科保健事業を担当するためには、地域歯科保健指導者委任状が必要です。

県民の口腔の健康維持増進を目的とする地域歯科保健指導事業において、積極的かつ会の代表としての責任をもってかかわれるようにするために、栃木県歯科衛生士会では、歯科衛生士としての資質の向上と倫理的意義を高めるため研修会を行っています。

このような本会研修会、情報交換会、各支部定例会の出席や、認定歯科衛生士の取得や各種認定の取得、本会以外の研修参加、公衆衛生の活動など個人での活動を、申請していただき委任状の授与となります。

栃木県歯科衛生士会 地域歯科保健指導者委任状申請書

令和2年度以下の活動を行いましたので、令和3年度の地域歯科保健指導者委任状を申請します。

支部名	会員番号	氏名	印
-----	------	----	---

資質向上	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">歯科衛生士認定</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 70%;">認定名と取得年度を記入 日本歯科衛生士会以外でも可</td> </tr> <tr> <td>Web等での研修会・学会の参加</td> <td></td> <td>参加した研修会名を記入してください。</td> </tr> <tr> <td>学会発表</td> <td></td> <td>学会名・発表、共同演者の区分を記入</td> </tr> </table>	歯科衛生士認定		認定名と取得年度を記入 日本歯科衛生士会以外でも可	Web等での研修会・学会の参加		参加した研修会名を記入してください。	学会発表		学会名・発表、共同演者の区分を記入									
歯科衛生士認定		認定名と取得年度を記入 日本歯科衛生士会以外でも可																	
Web等での研修会・学会の参加		参加した研修会名を記入してください。																	
学会発表		学会名・発表、共同演者の区分を記入																	
地域活動	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">母子・乳幼児</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 70%;">令和2年4月以降に担当した事業の延べ回数を記入。</td> </tr> <tr> <td>学校</td> <td></td> <td>3月の見込み回数も含めて記入可。</td> </tr> <tr> <td>地域歯科事業の開催</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>成人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>審美所健診</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	母子・乳幼児		令和2年4月以降に担当した事業の延べ回数を記入。	学校		3月の見込み回数も含めて記入可。	地域歯科事業の開催			成人			審美所健診			その他		
母子・乳幼児		令和2年4月以降に担当した事業の延べ回数を記入。																	
学校		3月の見込み回数も含めて記入可。																	
地域歯科事業の開催																			
成人																			
審美所健診																			
その他																			
貢献	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">役員</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 70%;">本会又は支部での役職名</td> </tr> <tr> <td>ボランティア</td> <td></td> <td>歯科保健での無償活動、日時・活動名を記入</td> </tr> </table>	役員		本会又は支部での役職名	ボランティア		歯科保健での無償活動、日時・活動名を記入												
役員		本会又は支部での役職名																	
ボランティア		歯科保健での無償活動、日時・活動名を記入																	

地域歯科活動調査 (該当するところを○で囲んでください)

①地域歯科活動への協力 ・協力できる 一②③にも回答
 年以内で変更の場合は支部長へ連絡、協力できない。(理由: ・勤務の状況 ・家庭の事情 ・その他)

②協力できる曜日 ・月 ・火 ・水 ・木 ・金 ・土 ・日

③協力できる分野 ・母子 ・保育園幼稚園 ・学校 ・障がい児者
 ・高齢者要介護者 ・介護予防 ・成人 ・事業所健診

※申請には基本的に必須項目が満たされていることが必要ですが、必須項目が不足する場合でも、資質向上に努め、実績のある方については申請を可能としました。

支部長	地域担当理事	理事長	会長
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

令和3年度委任状授与者

<p>県北支部 17名</p> <p>船山 由利子 丸山 三佐子 大金 あゆ子 牛山 美江 桜岡 美穂 井美 佳 松枝 美由紀 和田 のり子 月井 透江 品田 ゆかり 小野 信子 柿沼 さおり 加藤 望 佐藤 真紀子 石川 麻美 原京 日子 熊田 明日香</p>	<p>宇都宮支部 12名</p> <p>戸井田 紀子 長谷 規子 星野 小百合 飯野 江理子 井坂 稔子 安根 英子 関野 久恵 川上 美佐子 兼岡 涼子 東洋 子 石崎 朋子 鈴木 由香</p>	<p>日光支部 5名</p> <p>我妻 裕子 渡辺 理恵 福田 久美子 佐々木 涼子 黒子 和江</p> <p>鹿沼支部 3名</p> <p>木村 明子 保坂 弥生子 福田 志津香</p>	<p>下都賀支部 9名</p> <p>上岡 知恵 平本 久美子 山名 洋子 吉澤 久美子 篠崎 香織 山中 理恵 若林 宣江 窪佳 恵 渡邊 恵理香</p> <p>芳賀支部 4名</p> <p>大塚 則子 小高 百合子 粕谷 希望 秋元 麻美</p>	<p>小山支部 13名</p> <p>鈴木 美弥子 岩木 瑞恵 野上 栄子 大野 真智子 矢板橋 幸子 田嶋 友香 横井 希光子 椎橋 桂子 毛利 千栄子 金口 ひとみ 関東 智恵子 谷中 穂菜美 桃子</p>	<p>足利佐野支部 19名</p> <p>慶野 敬子 兵藤 淳子 塩谷 裕子 林 幸子 野内 久美子 堀越 悦代 木村 悦節 中村 美智子 神谷 祐子 亀山 咲子 長岡 佳子 柏瀬 典子 赤板 有里 青木 美樹 鈴木 祐子 尾花 美奈子 杉井 沙織 武井 こず恵</p> <p style="text-align: right;">合計 82名</p>
--	---	---	---	--	---

地域歯科保健事業の報告

委任状を授与された栃木県歯科衛生士会員が行った地域歯科保健事業
(延べ実施回数 803 回 延べ歯科衛生士数 1,156 人)

乳 幼 児 健 診	日光市・佐野市・下野市・小山市・大田原市 矢板市・那須塩原市・さくら市・那須烏山市・野木町 茂木町・塩谷町・那珂川町・市貝町
育 児 教 室 ・ 相 談	大田原市・那須烏山市・那珂川町・塩谷町・さくら市 栃木市・小山市・佐野市
保 育 園 ・ 幼 稚 園 指 導	那須烏山市・塩谷町・那珂川町・佐野市
学 校 歯 科 保 健 事 業	那須塩原市・さくら市・那須烏山市・那須町・大田原市 壬生町・上三川町
介 護 予 防 教 室	宇都宮市・佐野市・栃木市・日光市・茂木町・市貝町・塩谷町
成 人 歯 科 健 診 及 び 結 果 説 明	那須町・那須烏山市・塩谷町・佐野市
事 業 所 歯 科 健 診	6 事業所
そ の 他	医療介護関係者研修会 栃木県歯科保健推進協議会 他

栃木県歯科衛生士会支部紹介

支部長会

日 時 令和2年7月26日(日)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催

参加者 中村・原・大塚・鳩山・渡辺・金子・若林・堀越・渡邊・品田・兼岡
福田・上野・佐藤
戸井田（宇都宮）・和田（県北）・椎橋（小山）・吉澤（下都賀）
粕谷（芳賀）・保坂（鹿沼）・手塚（日光）・赤間（足利佐野）

内 容

- * 本会・担当理事からの連絡
- * 各支部からの本会に対する要望について
- * 令和元年度支部活動報告
- * 令和2年度支部活動計画

支部活動が円滑に運ぶよう、年に1度開催しています。

☆新入会員があった場合は、支部長へ随時連絡いたします。

皆さままで支部活動へのお誘いをお願いします。

宇都宮支部

★支部会員数 47名

支部長

戸井田 紀子

新支部長

神戸 睦月

①活動報告

令和2年度支部研修会は開催できず

支部役員会は電話連絡のみ

令和3年3月、地域歯科保健事業報告書とりまとめ実施

②コロナ禍で苦勞をした事・変化した事など

コロナ禍で開催された介護予防教室は、マスクをした状態で高齢者の方々にお話することが多く、大きな声で話さないと聞こえないので、注意をして講話をしなければなりませんでした。

また、介護予防教室では例年「お口を使ったゲーム」をしていました。人気があったゲームでしたがマスクを外してのゲームは新型コロナの感染リスクを上げるので実施できなくなりました。

③支部PR

令和3年度は2名の入会がありました。宇都宮支部は幅広い年齢層の会員が様々な職場で活躍しています。

今年度も研修会やランチを取りながらの交流会を企画しますので是非ご参加ください。

そして、歯科衛生士として共にスキルアップしていきましょう！！



宇都宮市の出前講座を利用した勉強会



研修会 CURAPROX（歯ブラシ）製品コンセプト

● 小山支部 ●

★支部会員数 17名

支部長
椎橋 桂子

①活動報告

- ・4月 10月 12月 R3・3月・・・
定例会（Zoomでの参加も可）
- ・第35回健康都市おやまフェスティバル協力（フッ素塗布）
- ・地域歯科保健活動（小山市 野木町 下野市）

新支部長
大野 真智子

②コロナ禍で苦勞をした事・変化した事など

- ・支部勉強会、市民公開講座、多職種連携研修会などの中止
対応）DH-KEN や学会及びメーカー等の動画配信の閲覧方法を紹介し各自が閲覧
- ・各市町の歯科保健活動の内容縮小や中止、振り替え
対応）各事業グループLINE内で支部長が報告・連絡・相談→事業リーダーが取りまとめ依頼先と連携（以上のルートを確立することで迅速に対応できた）
- ・緊急事態宣言の発令により会員同士が対面不可能になった
対応）LINEグループの活用、Zoom会議の環境整備を小山歯科医師会に協力要請
会員全員がZoomアプリの使用方法を習得できるまでリハーサルを繰り返し行った、よってコロナ禍でも顔の見える話し合いが継続でき新しい時代に対応する支部活動の基盤ができた。

③支部PR

小山支部では小山市・野木町・下野市と3つの市町の乳幼児健診や介護予防教室、休日急患歯科診療所での勤務など様々な事業を請け負っております。年齢層も幅広く就業形態も様々な会員が和気あいあいと協力しながら活動しています。会員どうしのサポート力は最強です！子育て中、家族の介護をしている方の参加も大歓迎です。是非一緒に活動しましょう。



フッ素塗布



Zoom会議

日光支部

★支部会員数 8名

支部長

渡辺理恵

①活動報告

- ・9月27日 定例会(情報交換会)
- ・12月13日 定例会(地域歯科保健担当者、情報交換)
- ・2月21日 定例会(次年度公衆衛生活動について話し合い)
- ・3月28日 定例会(報告書とりまとめ・Zoomについて)
- ・4月3日 Zoomテストミーティング

②コロナ禍で苦勞をした事・変化した事など

日光支部は会員数が少ないこともあり、自由参加という形で定例会を開催いたしました。地域歯科保健活動を行っているメンバーを中心に少人数で行いました。

新型コロナウイルス感染症の影響でオンラインが進む中、画面越しではなく顔を合わせ情報交換したり意見交換をし、生の声を聴くことの大切さを改めて感じました。

また、Zoomのテストミーティングも行いました。会員全員が慣れない操作に戸惑いがありましたが、事前に練習会を開いたこともあり、初めてのZoomミーティングはトラブルもなく、無事に終わることができました。今後もオンラインを活用しながら、積極的に活動をしていきたいと思えます。

③支部PR

日光支部の活動は例年、日光市・日光歯科医師会主催の「歯ッピー健口フェスタ」の共催とイベント参加や、支部内の勉強会・情報交換会の開催や、親睦会など多岐にわたります。

令和2年度は新型コロナウイルスの影響でイベント等は中止となってしまいましたが、活動を通して、地域の方々の歯や口の健康づくりに貢献できるように、会員一人一人が積極的に活動しています。また、それぞれの立場から知識や情報交換しながら研鑽し合っています。

一緒に活動できる仲間が一人でも多く増え、さらに明るく楽しい支部になるように活動をしていきたいと思えます。日光支部で一緒に活動して頂ける方連絡お待ちしております！



令和元年



忘年会



令和元年 研修旅行(足利佐野支部・口腔ケアセミナー見学と、足利市内散策)



鹿沼支部

★支部会員数 5名

支部長
保坂 弥生子

①活動報告

- ・定例会 4回（6月、9月、12月、3月）
- ・自立支援チーム会議 事例検討会等 3回
- ・ケーブルテレビ収録及び放映（鹿沼市高齢福祉課 依頼）
- ・成人歯科健診の為のDVD作成、ケーブルテレビ収録（鹿沼市健康課 依頼）

②コロナ禍で苦勞をした事・変化した事など

例年月1回の定例会を開催してきましたがコロナ禍による各種事業（健診含む）の中止、会場閉鎖もあり、休会としラインやメール等で代行しました。多職種検討会議や自立支援チーム会議等 Zoom にて開催され参加しました。

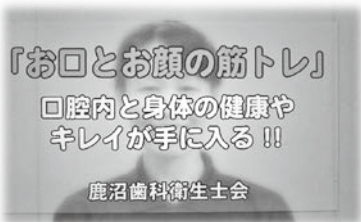
各種研修会・講習会もオンラインが主となり参加の足が遠のいたような気もします。

③支部 PR

小規模支部の利点もあり一人一人が担当を持ち会を支えています。



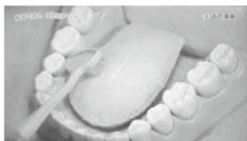
感染対策をした定例会と忘年会代わりの持ち帰り弁当



ケーブルテレビ収録第2弾
「後回しにしないお口の健康」
「自宅で楽しくお口の清掃」



活動グッズ第3弾



足利・佐野支部

★支部会員数 19名

支部長

赤間 多恵子

新支部長

神谷 祐子

①活動報告

佐野市：9ヶ月児、1歳6ヶ月児、3歳児健診・歯科相談・
育児相談

出前講座：オーラルフレイルについて 22名参加

防災訓練：災害時連絡網確認訓練

支部役員会：リモート会議を5回開催

②コロナ禍で苦勞をした事・変化した事など

毎年行われている「足利市歯の健康フェスタ」のイベント事業が中止になってしまいました。そこで、足利歯科医師会会長と共に、地元ケーブルテレビに出演し『コロナ禍における口腔管理について』お話をさせていただきました。顎模型と歯ブラシ、フリップを持ちながら説明しました。

支部役員会では、リモート会議に慣れていない為、通信が途切れる、声が聞こえない、時間オーバーするなどのハプニングもありました。徐々に慣れてきてスムーズに話が進むと、画面越しでも会って話しているような親近感が持てました。

③支部 PR

コロナで定例会もできず、会員同士で顔を合わせる機会が無く淋しいです。リモートでの定例会を開催してみようと考えています。

コロナが終息したら、口腔ケア実技セミナーを再開したいと思っています。

勤務DHの増加により地域歯科保健活動のできるDHが乏しい現状です。

新入会員を募集しています。

足利市では、昨年度山火事に見舞われました。幸い支部会員は被害を受けずにすみました。研修会で講師として呼び出した先生やたくさんの皆様よりご心配と励ましの言葉を掛けていただきました。大変うれしく、ありがたく、心から感謝申し上げます。ありがとうございました



ケーブルテレビのフリップ



令和元年「口腔ケア実技セミナー」

下都賀支部

★支部会員数 16名

支部長

吉澤 久美子

①活動報告

定例会（2歳児健診後）10回程度

乳幼児健診

介護予防教室

就学时健診

むし歯ゼロ事業（壬生町小学校2校）

②コロナ禍で苦勞をした事・変化した事など

令和2年度も学術担当者が研修会を計画しておりましたが検討の結果新型コロナ感染拡大防止の為中止することに決定しました。しかし定例会や地域歯科保健活動においては回数の減少はあったものの実行することができました。感染対策に十分配慮し対象者の方が安心して参加して頂けるように工夫をしました。

③支部PR

地域歯科を担当できるDHが少なくなっている状況ですが乳幼児健診や介護予防など幅広い活動をしています。

一緒に活動して頂ける方を募集しておりますのでご連絡お待ちしております。



乳幼児健診



定例会（乳幼児健診後）

芳賀支部

★支部会員数 4名

支部長

小 高 百合子

①活動報告

定例会 災害時の連絡方法の確認

市貝町2歳児歯科健診・3歳児健診・介護予防教室

茂木町1歳6ヶ月健診・2歳児歯科健診・3歳児健診・介護予防教室

②コロナ禍で苦勞をした事・変化した事など

コロナ禍で集まることが難しく思うように定例会を開くことが出来なかったが、Zoom ミーティングを行い、ホストなどの貴重な体験もしました。

また、乳幼児健診ではフェイスシールドをつけての指導、ソーシャルディスタンス確保の為、広い場所での指導でしたので、相手に上手く伝わるように、わからない時は質問して下さいと声かけして行いました。

③支部 PR

例年、支部会員が増えないのが悩みではありますが、年齢も様々で色々な刺激を受けながら楽しくやっています。

また Zoom ミーティングを行うようになり全員参加で予定が立てられるメリットもあります。そのおかげで近況報告や様々な情報も共有することが出来ます。

地域歯科保健活動を行える人が限られてしまっている現状なので、興味ある方はもちろんのこと、是非ご連絡をお待ちしています。



市貝町2歳児歯科健診



市貝町介護予防教室

● 県北支部 ●

★支部会員数 23名

支部長
和田 のり子

①活動報告

年度最後にプレ Zoom

新支部長
小野 信子

②コロナ禍で苦勞をした事・変化した事など

少人数での DVD 視聴等の計画がありましたが、実現しませんでした。

ほとんどの事業が延期や中止になる中、

- ・乳幼児健診では、パンフレットを作り直したり顎模型での指導に切り替えました。
- ・学校歯科では、飛沫対策としてブラッシング実習を省くところも増えて、十分に伝えられないもどかしさを感じました。

こんな時だからこそ栃 DH 会からの Web 講習情報は、お家時間を利用してスキルアップを図れる貴重な時間になり大いに活用できたと思います。

③支部 PR

歯科衛生士としての情報を共有できる貴重な場になっている支部会です。

せっかく手にしたライセンスで、いつもと違う景色を見に来てみませんか？

今年度は残念ながら支部活動はできませんでしたが

近い将来の再開を願って



支部研修会



会員発表



会員発表

栃木県歯科衛生士会 令和3年度 理事、監事

会 長	中 村 美智子	
副 会 長	原 瑞 穂 大 塚 則 子	
理 事	鳩 山 恭 子 総務 渡 辺 理 恵 総務 金 子 ひとみ 会計 若 林 宜 江 学術 堀 越 悦 代 学術 渡 邊 敦 子 学術 品 田 ゆかり 地域 兼 岡 涼 子 地域 福 田 志津香 地域 上 野 五代子 広報 佐 藤 真紀子 広報	
監 事	長 谷 規 子 星 野 小百合	
顧 問	林 幸 子	
日本歯科衛生士会 代 議 員	中村美智子	
理 事	長谷 規子	

栃木県歯科衛生士会への連絡・問い合わせ

HP <https://tochigi.jdha.or.jp/> E-mail tochigdh@khaki.plala.or.jp

住 所 〒 320-0047 宇都宮市一の沢2-2-5 栃木県歯科医師会館内

電 話 028-647-2084 FAX 028-666-0623

*事務局員の不在の場合は、留守番電話又はFAXにてメッセージを残して下さい。

もしくは上記、メールに送信して頂いても構いません。後日、ご連絡致します。

*支部会への見学、詳細につきましては、事務局へご連絡下さい。

《編集後記》

令和2年度を振り返り、やはり「新型コロナウイルス」一色の一年だったと思います。各種研修会等の中止や活動の自粛も続いている状況の中、原稿依頼を快く引き受けてくださった皆様に心より感謝申し上げます。

そして、一日も早い新型コロナウイルスの感染拡大の収束を願うばかりです。

*ご意見・ご感想等事務局へメール・FAX等でお寄せ下さい。原稿の持ち込みも募集しています。

広報 佐藤・上野



HENRY SCHEIN
J●East ヘンリーシャインジャパンイースト株式会社

お客様のベストパートナーであり続けたい
私たちはヘンリーシャインジャパンイーストです。

長い歴史を持つ歯科ディーラー
この度、長きにわたり数多くのお客様にご愛顧いただきありがとうございました株式会社岩瀬歯科商会と株式会社ウチヤマが合併し、「ヘンリーシャインジャパンイースト株式会社」として新たなスタートを切ることとなりました。これまで培ってきた「お客様満足のためのノウハウ」をこれからも多くのお客様に提供してまいります。

上野本社

ヘンリーシャインジャパンイースト  
<https://www.hsjeast.com/>

信頼の環^わ・Best of Partner として



このあどけない子供たちの眼に映る
豊かな未来を実現するために……。

私たちアマガイは、
次世代サイズで医療環境を考え、
望まれる最新鋭の歯科器材と
最大限の気配りをお届けする
ホットラインとして
貢献してまいります。

AMAGAI
<http://www.amagai.co.jp/>

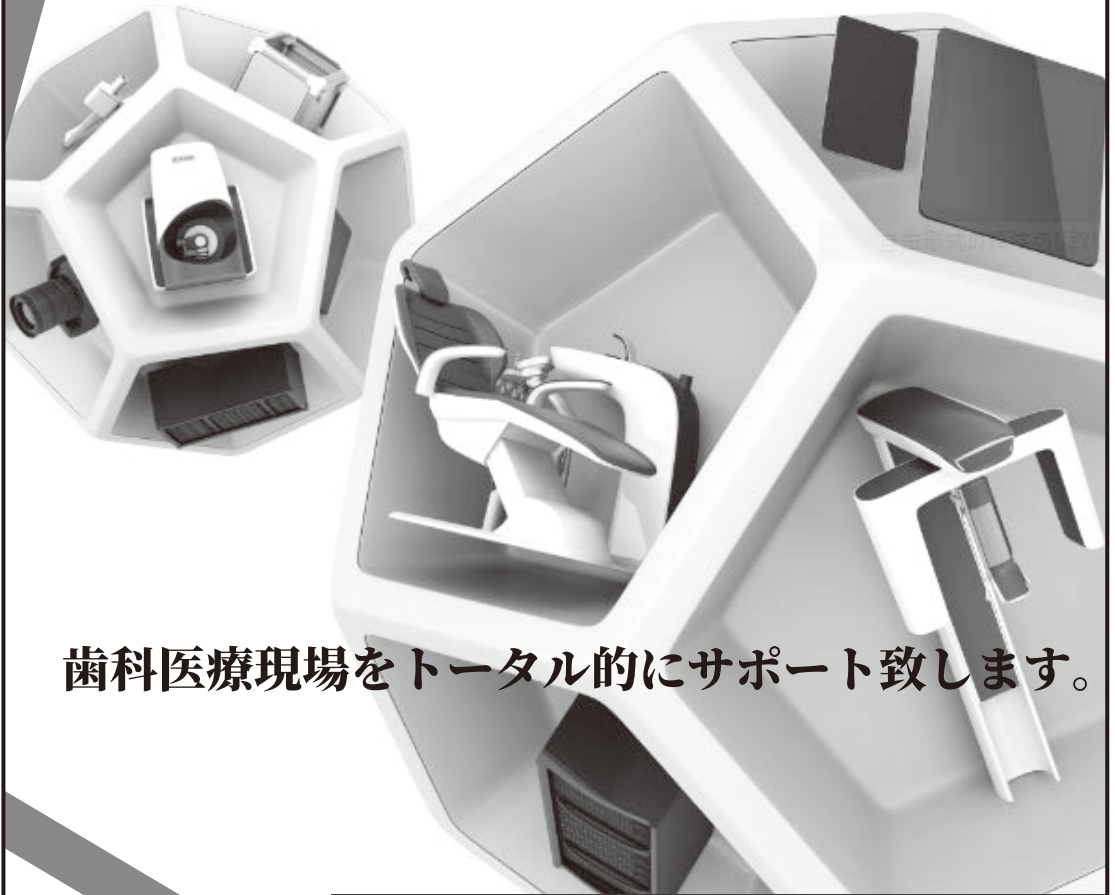


株式
会社

歯科器材の総合商社
アマガイ

〈宇都宮オフィス〉〒321-0925 栃木県宇都宮市東築瀬 1-30-8
TEL.028-637-8611/FAX.028-637-8666
〈水戸オフィス〉〒311-4143 茨城県水戸市大塚町 1863-118
TEL.029-253-2555/FAX.029-253-2556
〈さいたまオフィス〉〒339-0056 埼玉県さいたま市岩槻区加倉 5-4-21
TEL.048-797-7762/FAX.048-797-7785

New era New normal



歯科医療現場をトータル的にサポート致します。

Dental general trading company



株式会社 ハギノヤ

〒328-0034

栃木県栃木市本町18-30

TEL 0282-22-1466/FAX0282-23-8853

<http://www.haginoya.co.jp>



デンタルハイジーン 別冊

すぐできる! ずっと役立つ! 口腔内写真撮影入門

カメラが苦手なあなたに贈る
はじめの一冊!

齋藤善広・吉田彩乃 著

こんな方にオススメです!

- ・プライベートではスマートフォンのカメラしか使わない方。 ・マニュアル設定を使ったことがない方。
- ・一眼レフカメラにはじめて触る方。 ・撮影した口腔内写真に満足していない方 …etc.

■ AB判/104頁/カラー ■ 定価 3,850円(本体 3,500円+税)



デンタルハイジーン 別冊

どうして? どうする? 診療室からはじまる高齢者歯科

戸原 玄 編著

15のKeywordから紐解く、高齢者歯科の入門書!
豊富な図表や会話で、臨床をイメージしながら“根拠”が理解でき、実践に活かせます。
口腔や全身をみる“観察力”、“対応力”が身につきます。

■ AB判/136頁/カラー ■ 定価3,630円(本体3,300円+税10%)

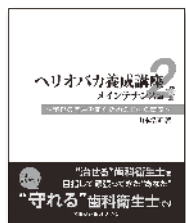


ペリオバカ養成講座2 メンテナンス編 ～学びの門戸を開くための102の質問～

山本浩正 著

『デンタルハイジーン』に好評連載。大幅加筆し、書籍化した待望の第2弾!
メンテナンスにまつわる102の質問(ペリオバカ度診断)を収録。豊富なエビデンスや
臨床例を、Dr. Hiroの軽妙な解説とイラストにより、楽しくわかりやすくまとめました。

■ AB判/176頁/カラー ■ 定価5,940円(本体 5,400円+税10%)

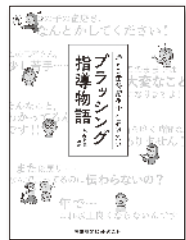


迷える歯科衛生士に届けたい ブラッシング指導物語

丸森英史 編著/丸森郁美・成井 香・河原なつの・澤田 恵・小泉百合・丸森史朗 著

正しいことを正しく伝えても、伝わらない……。そんなブラッシング指導の“もやもや”に!!
ブラッシング指導に悩むすべての歯科衛生士に送る“技術論”ではない
ブラッシング指導のヒント集です。

■ A4判変型/176頁/カラー ■ 定価6,930円(本体6,300円+税10%)



歯科衛生士のための 全身疾患ハンドブック

橋本賢二
増本一真 編著

ベストセラーとして好評いただいた
『デンタルハイジーン 別冊 診療室・多職種協働の現場で生きる!』
『歯科衛生士のための全身疾患ハンドブック』をバージョンアップして、書籍化。
全身から口腔をみる、口腔から全身をみる、臨床で活かせる全身疾患の知識が養えます!

■ B5判/180頁/カラー ■ 定価3,520円(本体3,200円+税10%)

